

第6回 縄文楽検定（中級編） 解答集

問題	解答	問題	解答	問題	解答
1	d	21	b	41	b
2	c	22	b	42	d
3	c	23	b	43	b
4	c	24	c	44	銀座
5	d	25	b	45	モノ送り
6	c	26	b	46	a
7	c	27	b	47	c
8	b	28	c	48	c
9	縄文海進	29	a	49	雪国
10	a	30	c	50	b
11	c	31	b		
12	中期	32	盛土		
13	c	33	c		
14	a	34	b		
15	(食料の)貯蔵	35	環状		
16	b	36	d		
17	d	37	まいぶん		
18	c	38	b		
19	d	39	b		
20	c	40	c		

(解説)

出題に用いたテキストとその略号は、以下のとおりです。

- ①<縄文楽検定テキスト>「縄文文化と火焰土器」(2008)＝「テキストⅠ」
- ②新潟県立歴史博物館編「火焰土器の国新潟」(新潟日報事業社 2009)＝「火焰」
- ③<縄文楽検定テキストⅡ>「信濃川火焰街道 縄文の旅」(2011)＝「テキストⅡ」

なお、問題文中、「火炎土器」「火焰土器」「火焰型土器」「火炎土器様式」などの用語が出てきますが、すべて使い分けをしています。

くわしくは、テキストⅠの9ページなどをごらんください。
 それでは、主な問題とその解答について簡単に解説します。

問7 正解はcのAMS法(テキストⅠ 19ページ)です。これまでも動植物遺体(炭化物も含め)に閉じ込められた放射性炭素(C14)の量を測定して年代を推定する方法が行われてきましたが、AMS法はより微量の炭素で想定可能な方法です。Accelerator Mass Spectrometryの頭文字をとったものです。ちなみにABSは最近みなさまのお車にもよく搭載されているアンチロック・ブレーキ・システム(Antilock Brake System)、TEDは最近はやりのスーパープレゼンテーションを行っているアメリカのグループ(Technology Entertainment Design)、OCRは光学文字認識(optical character recognition)、活字文書の画像をコンピュータが編集できる形式に変換するソフトのことだそうです。この手の略語が多くなって、どうもわかりにくいですね。

問12 正解は「中期」で十分ですが、なかにはテキスト中のグラフをよく読みこんで、「中期中葉」などと解答して下さった方もおられました。もちろん正解です（テキストⅠ 2ページ）

問13 正解はcのアンギンですが、「編布（あみぎぬ）」が転化した読み方とも言われていますから、問題文中に答えがかくれていましたね。ちなみにaのカラムシはアンギンの材料となる繊維（苧または苧麻）のことですが、これ自体は布ではありません。十日町市博物館や津南町の「なじよもん」ではアンギンについて学んだり体験したりすることができますので、興味のある方はお問い合わせのうえぜひおでかけください。

問19～21 長岡市中道遺跡では、火災で焼けおちたとみられる棚に、炭化したトチノミがのった状態で出土しています。炉のうえでいぶすことによって、長期間の保存をはかったものでしょうか。トチノミはそのままではアクが強くて食べられませんので、水にさらしてアク抜きをする作業が欠かせません。今でもこのような方法でトチノミを食べている地方がありますね。新潟県内でもトチモチなど召し上がる機会は少なくないでしょう（火焰 106ページ～）

問34 新潟県内の国史跡数は、新潟県教育庁文化行政課のホームページで調べることができます。28という件数は、ここ数年変化がないようです。一方、日本全国の国史跡数は文化庁のホームページに出っていますが、平成25年4月1日現在で1,709件あります。これを都道府県数47で割ると36か37ということですから、わが新潟県はちょっと少なめのような気がします。

問45 テキストⅡ（9ページ）をよく読みこんでいた方は解答できたようですが、なかなかむずかしかったでしょうか。「モノ送り」が正解ですが、多少標記が違ってもしました（カタカナ、ひらがなの違いなど）